

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	二条保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成 26 年 3 月 6 日

総 評	<p>二条保育園は昭和3年に京都市中京区旧丸太町に開園し、社会福祉法人京都社会事業財団によって運営されています。園の近くにJR二条駅、市営地下鉄二条駅があり、利便性に優れた住宅街の真ん中に位置しています。</p> <p>「昭和の激動期」を含め、85年の長きにわたり子どもの成長を見守ってきたことが職員の誇りと励みであり、卒園者名簿は2900人に達し、園の宝として大切に保存しています。</p> <p>保育理念は「健康は人間の基本であるという考えを踏まえた上で子どもたちの特性や実態を把握し、遊びの中でこそあらゆる知恵・情緒・才能・体力等が健やかに伸びる子どもの特性を重んじている」と掲げ、自由で楽しい雰囲気の中で、自然、地域、友達、保育士との関わりを大事にしています。</p> <p>保育に特別の道具は要らないとの考えで、「気持ちがいい」「楽しい」と感じる保育内容を盛り込み、八瀬野外保育センターでのお泊り保育や大根抜き、陶芸教室、田植えをしてお米の収穫をしたり、自然との関わりの中で体験豊かな保育をしています。地域との関わりも深く、ずいき祭りに参加したり、「地域子育て支援ステーション」事業や一時保育など広く地域に呼びかけ、保護者の子育ても支援しています。</p> <p>管理者を中心に職員間の連携も充実しており、園児の日常の状態の把握に努め、常に情報の共有を心がけています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のチームワークが良く常にコミュニケーションを取り、気になる子や課題を認識し情報を共有しています。 ・永年の経験、保育実績を振り返り、保育を見直し、資質向上に繋がるよう第三者評価を受診しています。 ・外国語を話す保護者の言葉を担任保育士が学び、円滑なコミュニケーションに努めています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・「保育課程」を編成し、指導計画との整合性を図ると良いでしょう。 ・研修は積極的に参加されていますが、今後は個人の研修計画、目標等を立て、研修レポートを作成し、評価分析を次の研修計画に反映すると良いでしょう。 ・SIDSの予防のため、睡眠観察の記録をとると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	二条保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成26年3月6日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	B	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	B	A
	I-1-1(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-1(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	B	A
		I-2-1(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	B
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	B
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	B
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-1(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

- ・保育の理念、基本方針、目標などホームページに明示されています。職員には職員会議で周知しています。保護者には入園前に説明し周知しています。
- ・保育課程は年間計画とかねているという考えで、保育課程は編成されていませんが、年間計画、月案、週案は作成されています。今後は保育課程を基に年間計画、月案、週案を作成するとお良いでしょう。
- ・園の方針が管理者により園全体に浸透しています。月案は、個人情報に配慮したうえで保護者全員に配布するなど周知されています。
- ・行政からの通達文書など必要に応じて、職員に周知しています。今後は具体的な取り組みについて、文書化されると良いでしょう。
- ・管理者は職員が働きやすい環境に取り組んでいます。管理者として経営や業務の効率化と改善に向けて積極的に取り組まれるとお良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	B
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	C	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

・法人内に3保育園があり、その管理者は毎週会議を持ち情報交換をしています。

・職員の就業状況をチェックし、分析結果により改善など、検討されるとより良いでしょう。

・京都市保育園連盟が実施する研修に積極的に参加し、職員の質の向上を目指しています。今後は個々の研修計画や目標など、研修レポートを分析評価し、次の研修計画に反映されると良いでしょう。

・実習生の受け入れマニュアルに基づいて保育実習生等を積極的に受け入れています。また、中学、高校生の保育体験も受け入れています。

・「地域子育て支援ステーション」事業として、子育て講演やリトミックあそびを実施したり、地域の「ずいき祭り」に参加するなど、施設の機能を地域に還元しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	C	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

- ・苦情解決の仕組みが整備されており、保護者の意見なども懇談会等でフィードバックしています。
- ・第三者評価は今回が初めての受診です。永年の経験、保育実績を振り返り、保育を見直し、資質向上に繋がるよう努めています。また、園長は、時代の動向、制度改革を見通しながら、自園の保育サービス内容、運営方法についての情報収集を積極的に行っています。
- ・日々の子どもの様子など連絡しあい、職員間で情報を共有しています。気になる子どもの状況や課題は、職員会議やケース会議で報告し検討されています。
- ・ホームページで必要な情報を提供したり、入園前には保育方針、保育内容、持ち物等を記載した文書を使用し、個別説明会を実施しています。保護者別に時間をかけ（1時間ほど）丁寧に伝えている取り組みが見られました。
- ・転園の事例はありませんが、卒園してからも保護者が気軽に来園するなど、子育ての相談も受けています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	B	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	B
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	B
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	B
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	B	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	B	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	B	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる		B	B	

[自由記述欄]

- ・園児の受け入れ、体調把握は健康管理マニュアルや感染症対策ガイドラインに基づいて実施しています。健康観察を丁寧に行っています。
- ・米を契約農家から購入し専用冷蔵保管庫で管理し、土曜、行事以外のおやつは全て手作りで、給食提供がされています。節分行事にはいわしを子どもたちの前で焼いたり、おにぎりを子どもたちが作るなど、食文化、食育にも積極的に取り組まれています。
- ・絵画作品展の開催方法を今年度は、園内で保護者が自由に鑑賞する様にしています。行事や保育内容の見直し、情報発信などに積極的に取り組んでいます。

- ・訪問日年長児クラスでは、文字に興味関心を持たせる活動（まのつく言葉集め）が展開されていました。「まり」「まほうつかい」「私の名前にもまがある」と、どの子も積極的に発言し、担任とのやりとりが見られました。
- ・園庭は十分な広さはありませんが、環境を工夫して活動的に遊べるよう配慮しています。
- ・乳児保育室には、手作り玩具を工夫して微細運動や粗大運動に活用できる環境を整備しています。年齢や発達に相応しい環境整備に努力しています。
- ・昼寝の布団はリース布団を使用し、衛生管理については業者との契約で実施しています。業者委託する部分と園内での衛生管理、掃除チェック表などを定期的に見直し、確認をすることで、更なる改善に繋がるでしょう。
- ・SIDSの予防のため、睡眠観察の記録をとると良いでしょう。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・年1回のクラス懇談会と参観日などの機会を利用して、保護者と連携しています。
- ・外国語を話す保護者の言葉を担任保育士が学び、円滑なコミュニケーションに努めています。
- ・一時保育では、利用する子どもの安定を図るため、その子の好きな玩具や絵本などを保育室内に置いておくなど、配慮がされています。また、利用にあたっては丁寧な説明が行われています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	B	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A
		⑤ 不審者の侵入などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A

[自由記述欄]

- ・食中毒対応マニュアル、衛生管理マニュアルは、実際に発生した際に活用できるマニュアルに整備されています。
- ・子どもの安全、安心のため「ヒヤリハット事例」など活用して、発生要因の分析、防止策の検討、研修等が実施されています。家庭で起きた怪我についても、保護者に対して、相談、助言をし安全指導に努めています。